

脊椎専門医の小粥 博樹おかい医師が 整形外科部長に就任いたしました

2023年1月より、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医の小粥医師が整形外科部長に着任いたしました。
これまでと変わらぬご支援、ご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

病床48床をフル稼働して、全力を挙げ、
地域の紹介患者さんを受け入れて参ります



荻窪病院 地域連携ニュース 2月

■ ご挨拶 ■

このたび2023年1月から荻窪病院の整形外科部長として着任しました小粥博樹です。昨年末まで都立大久保病院で日々脊椎外科診療に勤しんでおりました。

荻窪病院の整形外科は、地域の先生方からの信用と信頼を得ることを礎とし、昨年度は常勤医師11名で、3,300件近くのご紹介をいただき、1,457件の手術を実施しました。改めて連携の先生方にお礼申し上げます。

当院整形外科は、以前より各分野ごとに高い専門性に担保された、質の高い医療の提供を心がけております。月並みですが最適・最善な医療の実践で、受診され

整形外科部長

小粥 博樹

おかい ひろき



・91年 慶應義塾大学医学部卒業
・日本整形外科学会整形外科専門医
・日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
・がん口コモドクター

全身に影響を及ぼす脊椎脊髄の奥深さに魅了され専門を志す。特に顕微鏡下低侵襲手術を得意とする。趣味はバイク、ドライブと映画。映画鑑賞では「最近、涙腺が緩むことが多くなっちゃって…」と笑顔。

“木を診て森も診る”
整形専門領域だけにとどまらない
一連の流れを重視した診療を

た患者さんが笑顔になれる、満足してもらえる医療を追求していきます。

そのために整形外科に割り当てられた急性期病床 48 床をフル稼働して、今後も救急患者受け入れや地域の先生方からの紹介患者さんへの対応に全力を挙げて参る所存です。

しかし新型コロナ対応のために病床数とマンパワーが一部割かれる中、不本意ながら地域医療支援病院として期待されるニーズに応えられていない部分もあるのでと推察します。当院には透析センターや放射線治療装置がないことも、透析関連の整形疾患や骨転移などの SRE (skeletal related events) 患者さんの受け入れに、ご不便・ご迷惑をおかけしてしまっていることと思います。併せてご容赦ください。

これからも、持てる医療資源を最大限活用し、診断から治療の一連の流れを重視した整形専門領域だけにとどまらない“木を診て森も診る”医療提供を心がけ、地域の先生方と一緒に地域医療を支えていきます。よろしくお願い申し上げます。

カンファレンスを開催しました 内科/整形外科/リハビリテーション科

第7回 内科カンファレンス(1/26)



▲内科 中村雄二部長

「科学が紐解く“医食同源”と“病は気から”」と題した慶應義塾大学医学部長 消化器内科教授の金井隆典先生のご講演では、腸内細菌が消化管のみならず多臓器に影響を与えているという研究結果から、難治性疾患に対する革新的な治療法が開発されているという、最新の動向をお話し頂きました。また飯泉神経内科医長から当院の対応疾患について、矢部外科部長代行から周術期口腔ケアの合併症予防効果についてご報告いたしました。

第12回 整形外科カンファレンス(1/20)



▲整形外科 古郡宏行医員

特別講演として、NTT 東日本関東病院院長 大江 隆史先生より「ロコモ提唱の原点に帰るーロコモの防止になぜ骨粗鬆症治療が必要かー」をご講演頂きました。整形外科の古郡医員からの「継続的な二次骨折予防実現に向けた取り組み」では、当院の骨折リエゾンサービスの活動をご紹介いたしました。

ハイブリッド開催であった当会には 100 名近くのご参加をいただき、遠方の先生からも多くのお申込みを頂きました。

第13回 リハビリの会(11/16)



▲左 リハビリテーション科 岡崎真人部長
右 整形外科 水間毅医員

「四肢骨関節外傷の診かた」をテーマに、岡崎リハビリテーション科部長より「骨折画像の診かた～上肢を中心とした総論～」を、整形外科水間医員より「大腿部近位部骨折の診かた～診断・治療・リハビリ～」を発表いたしました。今後も当会は地域のリハビリテーションスタッフにとって有益な連携の会となるよう、企画してまいります。

ご紹介・ご相談は 地域連携室 03-3399-0257

発行：荻窪病院 地域連携室

月～金 8:30～18:30 土 8:30～12:00 FAX 03-3399-0258 代表 03-3399-1101 〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24